

**小店員募集**  
但し十五六歳にて  
尋常小學卒業  
月給を早めます  
— 玩具行人募集 —  
詳細は面談

**貸家案内**  
白銀町 商人向 貳拾五圓  
全間町 勤人向 貳拾五圓  
全間町 勤人向 三圓五拾錢  
湯屋町 商人向 貳拾五圓  
全間町 勤人向 八圓  
全間町 勤人向 八圓  
全間町 勤人向 八圓  
全間町 勤人向 八圓  
柳町 商店向 五圓五拾錢  
全間町 勤人向 五圓五拾錢  
五丁目 全間町 六圓五拾錢  
全間町 全間町 五圓

**加藤營業所**  
白銀町（電話三三三番）

**のどかな春！**  
旅行に！散策に！  
皆さん御待ち兼ねの……  
春の中折  
鳥打帽子  
子供さんの帽子

**にツルヤ**  
四丁目  
電話百四十番

各種  
内服薬局  
電話百四十番

**ヒナ人形小道具一式**  
永光齋  
祐月製  
**特價大賣出し**  
平町二丁目  
**陳野洋品店**

玉秀  
特製 **お雛人形賣出し**  
種類が多いのと品の良いのが自慢  
**二丁目（福）ふさん店**

**ヒナ人形陳列會**  
珍ヒナ人形や道具類は  
平町四丁目（電話七二二番）  
**スガノヤ提灯店**

**仙峰特製、榮光齋ヒナ人形**  
御道具特價大賣出し  
— 品豊富見やすく買やすし —  
三丁目 **加藤提灯店**

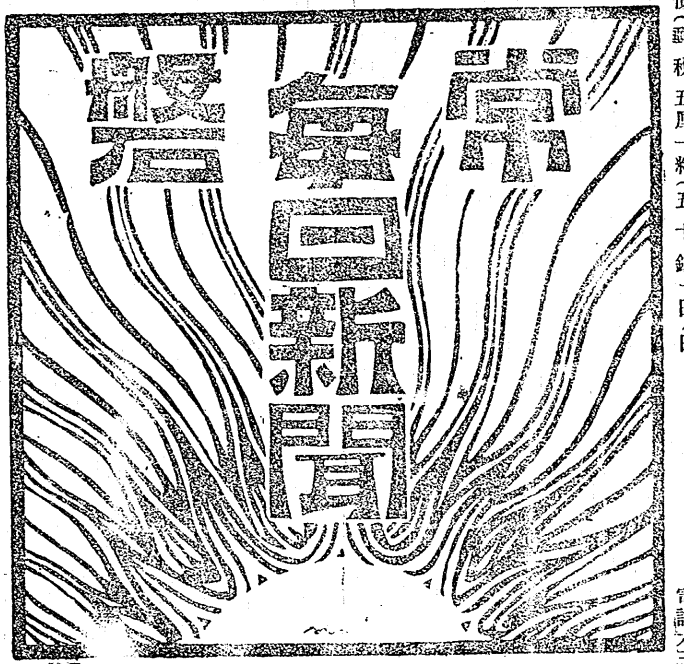
**例年通り 雛人形賣出し**  
眼樂亭久月特製  
及び秀山別誂  
平三丁目 **金太郎玩具店**

**燃料界の親玉徳用煉炭**  
良品は多言を要せず  
無煙無臭で火力強く  
火持のよい事素敵也  
一個の御注文でも直ちに配達致します  
何卒御使用下さい  
平町南町五〇  
**磐城殖産合同株式会社**  
炭部  
電話四六番

**流下薬**  
無効返金  
價金四圓  
價金七圓  
月やく止まり心配の人には安心確實無害に流下し目的を達する當局發賣の強烈特殊薬を用ひなさい。  
◎某店の如く無責任薬は賣らぬ  
**高き醫療より安い藥劑師へ**  
特に平町田町宇佐美藥局に  
◇醫藥分業の標語募集  
一等五圓貯蓄債券（以下略ス）四月三十日迄用紙ハガキ  
塗料大廉賣 ◎コレオソルト油 一、七〇

**耳鼻咽喉科専門**  
場所（舊診療所裏通り）  
**合津醫院**  
平町仲田町（電話五五九）

**外科 専門線**  
入院應需  
**上田外科醫院**  
平町南町  
電話一二九番



四月八日夕刊

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社同番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所

**寄書**

**笛の皮** (先)  
警視廳技師 荒木治義

◇悪評  
醫者に二度と診て貰ふ奴があるか…… 歸れ僕は此患者は診察をお断りする…… 歸れッ

怒鳴つてしまつた。平あやまりに謝るだらうと見くびつて居た醫者に怒鳴りつけられたので、案に相違したと云ふ様な顔から困つたと云ふ様な顔に變化するのがアリアリ見ゆる、態度や言葉が直ちに變つて終つた。

「イヤ…… そういふ譯では……」

「さういふ譯も無い、信用しない醫者の薬は何程飲んでも効かない、薬に薬價を拂ふ必要もあるまい僕の方では醫者を信用せぬ患者は御免だ、患者に薬は與へて居るが薬屋ぢやないんだからねサア連れて歸り給へ…… 控室には澤山の患者が待つて居るんだ」

「お腹立ちですが、どうも田舎者で言葉遣ひを知らずに…… つい失禮申したので…… から何卒もう一度御診察を願まして…… 苦しんで居るのを助けて下さる様……」

**優美鮮明 敏速可嘩**  
活版印刷の御用命を御願致します  
常盤毎日印刷所  
平町長崎三三  
（電話六三〇番）

# 形勢悪化の徴を見て 平署が大敷網に警告

## 白井組から業務妨害の告訴

石城郡小名濱に於ける白井組と高橋組との大敷網漁業権紛争は日毎に悪化し互ひに多数の漁夫を雇入れて何時血の雨を降らすかも知解らぬ形勢を示すに至つた爲め本日平警察署より猪狩署長の名を以つて兩組に對し若し暴力行為に及ぶが如き事態を醸さば直ちに嚴重な取締を行ふべきにや此際互ひに自重を要するの意味に於て警告状を發する處あつたが白井組の郡司二郎氏は「自己の獲得したる漁業區域にみだりに高橋組投網するは業務を妨害するものなり」として昨日平警察署に業務妨害の告訴を提起した

# 石城郡の 在米激減 想

## 不況で手離す

全國在米高調査は五月一日現在に行はるゝので各町村共本月二十日頃よりばつ／＼準備に着手する筈であるがこれに先立ち石城郡内現在の在米状況は昨年度に於いて郡内にて一割二分の減收を來してをり且年々消費高は郡内生産高より十萬石の不足を來してをる結果これを他地方より移入しつゝあつたものであるが金融の硬塞に依つて一般米穀商の買出しが不圓滑となり勢ひこの不足米の補填方法は從來前々年の持米を不況の結果大地主大農等が手離す關係などよりごうやらに合つてゐる状態であるが斯る方面の理由より綜合するも前年度における調査高七萬二千八百六十石に對し平穀物検査所等にも相當激減するものと觀測してゐる模様である

# 平の花祭り

## 昨日の盛況

既報平町各宗寺院合同主催の元部會議室に於ける釋尊降誕花まつりは昨日午後二時から開催、先づ九品寺住職に依つて灌佛式を執行し左記童話あり  
△おしやか様の話、鈴木積善△物云ふ紙、宮島テル子△朝鮮人參の話、長瀬シノブ△旅僧は語る、川崎小鳥  
一同鈴木氏の指揮にて花祭まつりの歌を合唱し午後四時閉會したが雨中にも拘らず頗る盛況であつた

# 委員会を設け 少職業指導

## 平紹介所考究

平町職業紹介所の少年求職者は創立以來百三十名であるが逐日増加するに鑑み

益々少年の職業紹介並に同職業指導等の必要を感じつゝありて豫てより同所では色々これが前後策を考察してゐたがこの程痛切に少年職業諮問機關の設置が重要視せられ四年度には少年職業指導委員會を設置して少年の職業紹介職業指導等少年の將來の有利に展開させるべく目下それ／＼計畫中である

# 迷信の朝鮮夫婦の 幼兒の屍体を水葬

## 勿來海岸の波打ち際

## 轉つて居た蜜柑箱詰

石城郡勿來町海岸波打ち際生後間もない男の子の死体が蜜柑箱の中から半身を現はし打捨ててあるのを去る六日午後四時頃

通行人が發見驚いて植田署に届出た爲め同署から係官及び横山警察醫出張屍体を解剖に附し遺棄犯人を捜索中の處同町勿來炭礦朝鮮飯場坑夫朝鮮人李鶴守(ニ)同妻李桂文の(ニ)所爲と判明本日兩名共に逮捕されたが右は昨年と嬰兒を



家 庭 療 養

# 葡萄酒の製法

房々と實つた葡萄で家庭でもなぐさめに葡萄酒をこしらへて見ませう。至極簡單に出來ます。

# 廻遊団体募集

## 希望者は草野驛に

御大禮式場の拜觀期間が延長された爲め仙台運輸事務所主催で式場拜觀を兼ね伊勢神宮に參拜し善行寺に詣で京大阪奈良の名所を遊覽する団体募集であるが宿料辯當其の他十二圓、草野驛よりの汽車賃十五圓八十五錢にて希望の向は草野驛長宛申出られたこと

# 商港起工式

## 五月に舉行

本年度より五ヶ年繼續事業とされてゐる小名濱商港工舉起工式は中川縣土木課長過般來上京本省と種々打合せ六日歸郷したが結局その時期を五月下旬の所謂地方長官會議直後に行ひ最初の計劃者である前知事の伊東長崎縣知事や各大臣その他朝野の名士一千餘名を招待して華々しく起工式を舉げる事とし準備を進める事となつた

# 白米や ネギ四十貫

## を盗んだ泥棒

住所不定山形縣西置賜郡蠶葉村大字横田尻生れ酒井原新太郎(ニ)は三日午後十時

製法——葡萄はなるべくよく熟した、甘味の多いものを選びます、果実だけをとり取り布の袋に入れて果汁を搾り出し、其の汁をビールの空瓶か何かに、七分目位入れて、青梅綿を丸めて軽く栓をしてそのまゝ少し涼しい場所に一週間か十日位放置すると自然に醗

# 明後日の 忠魂祭各係

## 松ヶ岡公園にて

石城郡忠魂祭は既記の如く來十日午前十時から松ヶ岡公園に於て執行さるる筈であるが當日に各係分擔は左記の如くである

- (總務)伏見彦術、四家久米治
- (受付係)係長松本勇、小泉英次、佐藤伊太郎、増子富治、山野邊達卓、草野三郎、伊坂道雄、草野定造、石坂一雄、渡邊佐七、吉田政吉
- (祭典兼式場係)係長山崎清三、大平陸四郎、香野

- 利一、吉田定正、酒井寅之助、山部正勇、遠藤心光、菅原正作、山崎金作、江尻幸平、神長倉金造
- (來賓係)係長山内武夫、安島重三郎、中村立躬、永井億彌、伊藤淺之助、金成淺治、木田源一、國井義、兒玉萬平、荒川忠治、渡邊金治、佐藤要四郎、吉田房太郎、丹吳良吉、薪鹽一藏、花澤文庫
- (遺族廢兵接待係)係長鈴木榮、齋藤治尾、下野十郎、酒井猶次、遠藤五三郎、西野源次郎、松本新次郎、小野崎眞太郎、須藤鶴之助、橋三郎、愛國婦人會員

- (劍道及銃劍術係)劍道係長猪狩清、鯨岡恒、鈴木忠正、小野寛美、藤井一銃劍術係長加藤丈夫、麻原吉五郎、庄司止之、小松武勇
- (弓術係)係長猪狩清、飯田一二、伊藤定吉、香野利一、梅津松吉、廣木榮之助、高木源次、伊坂員正、渡邊太次郎、松浦昌鈴木丑松、東源之助、猪狩三郎、望月辰藏、神長倉春造
- (庶務係)係長花澤文庫、内田節太郎、岩立淺藏、古川清水、渡邊美登、高崎晴明、柏原光太郎

- (會計係)係長酒井寅之助、藤田榮助、大河原金之助、渡邊直一、渡邊源彌
- (救護係)係長羽岡平三郎、根本莊次郎、谷口長次

北東の風  
曇り勝ち  
一時晴る

謹啓妻てる子儀豫て病氣の處療養不相叶八日午前六時死去致候間此段御通知申上候敬白

追而送葬の儀は四月十日午後二時自宅出棺性源寺に於て佛式に依り相營可申候

昭和四年四月八日  
福島縣平町町  
高野卯之吉  
高野得助  
親戚總代